



東陽病院 鈴木 健士 内科医師

一人の患者も助かっていないという意味ではありません。レントゲン検査によって早期の病変が見つかり、それによって尊い命が救われることはもちろんあるのです。しかし、何

※東陽病院の休日当番日

6月27日(日) 午前9時～午後5時
医師2名が待機・来院の際は電話を ☎841335

はたして、検診は本当に必要なものなのでしょうか？
これには賛否両論あると思います。例えば、一年に一回胸部レントゲン検査をした人としないうで生存率に差があるか、という研究がなされています。結論から申し上げますと、検査をしてもしなくても生存率に有意な差は出ないという結果となったそうです。しかし、これは検査をやっても一つの病気が見つからず、

一人の患者も助かっていないという意味ではありません。レントゲン検査によって早期の病変が見つかり、それによって尊い命が救われることはもちろんあるのです。しかし、何

募集

医療や健康に関する質問をお寄せください。このページでお答えしたいと思います。

質問は、手紙やハガキ、またはFAXでお願いいたします。たくさんのご質問をお待ちしています。
宛先 光田宮川12100
東陽病院広報担当
FAX ☎842882

健康への

メッセージ

シリーズ⑥7

住民検診について

光町のみなさんこんにちは。今回は、みなさんが毎年受けていらっしゃる住民検診についてお話ししたいと思います。

住民検診では(ガン検診も含め)、血液、尿、便、胸部レントゲン、心電図、胃バリウム検査、他に内科検診、乳房触診、子宮検査などが行われています。これらの検査・診察でなにか異常があれば医療機関を受診し、さらに詳しい検査がなされます。しかし、異常ありといわれた方の中にも、問題となる異常のない方もたくさん含まれていますし、逆に異常なしの方の中にも異常が見つかることもあります。医者の中には、検診は百害あって一利なしと言い切り、本まで出している人もいます。

万人の検査が行われ、その中でほんの少数しか差がでなければ、結果としては有意な差とはいえないということになります。しかしたった一人の命でも、それは地球よりも重い命であることは誰でも知っていることです。一つの命でも救えれば、その検診は成功であると言えなくもありません。また、検査を行う際の危険を考えれば、あえてする必要はないという意見もあります。確かにどんな検査でも、危険が全くないというものはないかもしれません。しかし、それはいえば点滴ひとつでも事故の可能性はあります。結局は十分注意して行うしかないかと思っています。

話題の本

『忠臣蔵』の世界

討ち入りからすでに300年近くの年月を経て、今もお多くの日本人の心を揺さぶる歴史ドラマ『忠臣蔵』。今年のNHK大河ドラマにも取り上げられ、誰もが知っている話ですが、真相は謎に包まれたまま。そんな『忠臣蔵』の世界を紹介します。

- ◆「新・忠臣蔵」全8巻 舟橋聖一／著 文芸春秋 (NHK大河ドラマ「元禄缭乱」の原作本！)
- ◆「忠臣蔵心中」尖坂雅志／著 講談社
- ◆「浮世絵 忠臣蔵の世界」中右 瑛／著 里文出版
- ◆「忠臣蔵百科」泉 秀樹／著 講談社
- ◆「忠臣蔵四十七義士全名鑑」(財)中央義士会／監修

駿台曜曜社

この他にも、多数の本が用意してあります。

6月の休館日 7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)、30日(水)



ほんの

＝町立図書館＝
☎843311

